



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

# 債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/10 （3/3との比較） 今後の見通し （※4）	3/10 （3/3との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
日本 	A+	0.09% （+0.01）		+1.6% 2016年4Q	-	米国の3月利上げ観測が強まり、5年国債入札が不調な結果となる中、国債利回りは小幅上昇。景気ウォッチャー調査では、現状判断DIが前月比で低下。金融庁検査の報道から、地銀の運用方針への影響度合いも注目される。	米国の金融政策動向に注目が集まる中、日銀は金融政策決定会合で政策姿勢を維持する可能性が高いと考えられる。20年国債入札などが予定される中、国債利回りは引き続きレンジ圏内での推移を見込む。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.58% （+0.10）	114.79円 （+0.66%）	+1.9% 2016年4Q	0.75%	非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、失業率も低水準となるなど良好な内容。3月利上げが確実視される中、国債利回りは上昇。米ドルは対円で上昇。トランプ大統領は共和党発表のオバマケア代替法案支持を表明。	FOMC（米連邦公開市場委員会）での利上げが確実視される中、今後の金融政策姿勢が注目される。その他、連邦債務上限の復活やG20財務相・中銀総裁会議、予算教書の提出など、材料視されるイベントが多い。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.49% （+0.13）	122.53円 （+1.16%）	+1.7% 2016年4Q	0.00%	ECB（欧州中央銀行）は金融政策を維持し、声明から一部文言を削除。英国の、EU（欧州連合）に対する離脱通知を巡り不透明感が浮上。米国債利回りが上昇する中、ドイツ国債利回りは上昇。ユーロは対円で上昇。	オランダ下院選挙が予定され、ギリシャ支援についての動向に加え、引き続きフランスやイタリアなど各国の政治動向が注目される。また、米国の政策動向からも影響を受ける環境が持続するとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示（\*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（\*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からマネタリーベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/10 (3/3との比較)	3/10 (3/3との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.81% (+0.11)	85.21円 (▲0.08%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	経済指標では、貿易収支や雇用統計の結果が市場予想を上回るなど良好な内容。米国の影響を受け、国債利回りは上昇。在庫の増加を嫌気し原油価格が下落する中、カナダドルは対円で下落。	中古住宅販売件数や製造業売上高などの発表が予定され、引き続き景気回復の度合いを探る環境。金融緩和政策が維持される見通しの中、原油価格の動向などが、カナダドルの上値を重くする可能性があると思われる。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
オーストラリア 	AAA	2.98% (+0.17)	86.58円 (▲0.04%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	小売売上高が改善する中、市場予想通り中銀は政策金利を据え置き。国債利回りは上昇。米国の利上げ観測が高まる中、オーストラリアドルは対円で下落。ムーディーズ社は格付け及び見通しについて、変更なしとした。	企業景況感や消費者信頼感指数、雇用統計などの発表が予定され、引き続き景況感改善の度合いを探る状況。海外では材料視される経済イベントが多いが、特に米国の金融政策動向が注目される。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.40% (+0.09)	79.44円 (▲0.89%)	+3.5% 2016年3Q	1.75%	隔週開催の乳製品入札は落札価格が大幅下落し、クレジットカードを使用した消費額も前月比マイナスとなるなど、景気頭打ちを示唆する経済指標が散見される。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	発表予定のGDP（国内総生産）は高めの伸びが予想されるものの、成長ペースは減速する見込み。住宅販売統計や経常収支などが発表される予定。景気が頭打ち傾向にあるとの見方を払拭する内容とはならない見込み。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.86% (+0.04)	13.35円 (▲1.29%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	中銀による企業調査は生産見通しがやや改善し、鉱工業生産も前月比で増加した一方、インフレ率は市場予想を下回る。原油価格の下落もあり、ノルウェークローネは対円で下落。他国市場の影響を受け、国債利回りは上昇。	16日に中銀理事会を予定。足元のインフレ率が低下しているため、当面緩和的な政策を維持する姿勢が示される見込み。引き続き、原油価格動向や米国金融政策などの国外要因に大きく影響される見込み。
	Aaa	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/10 (3/3との比較)	3/10 (3/3との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	9.97% (+0.00)	36.53円 (▲0.19%)	-2.5% 2016年4Q	12.25%	GDP (国内総生産) はマイナス成長と依然軟調。国内のインフレ鈍化基調と市場全般の利回り上昇圧力を受けて、国債利回りはほぼ横ばい。レアルは対米ドル、対円ともに下落。	足元のインフレ率は更なる鈍化を示し、追加利下げの観測が高まりやすい地合い。改革への期待も相まって、債券・為替ともに堅調な展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↗ 景気回復	↘ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	7.85% (▲0.06)	8.71円 (▲0.38%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	GDP (国内総生産) はマイナス成長となり、企業景況感指数は前月比で低下。軟調な経済指標を受けて、ランドは対米ドル、対円ともに下落。財務相による財政強化の発言から、国債利回りは低下。	政権与党が、6~7月に実施予定の政策会議に向けて討議資料を作成と一部メディアが報道。資料には汚職による同党の信認低下に関する内容も。同国の先行き不透明感から債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Baa2	→ 金利横ばい	↘	↘ 景気鈍化	↗ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.30% (+0.04)	0.86円 (+0.70%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	外貨準備や消費者信頼感指数は大幅に改善。また、格付会社JCRが同国の格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」に変更したことを受け、ルピアは対米ドル・対円とも上昇。国債利回りは上昇。	16日に金融政策決定会合が開催される予定。インフレ上昇圧力により利下げへの期待が後退するも、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、同国の債券・為替ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↗ 景気安定	→ 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.95% (+0.13)	1.72円 (+0.94%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	資本財と耐久消費材が大きく改善したことから、鉱工業生産は市場予想を上回る結果。市場全般の利回り上昇を受けて、国債利回りは上昇。インドルピーは対米ドル、対円ともに上昇。	インフレ関連指標の発表などを予定。州議会選挙の結果は与党が勝利し、改革を進めるモディ政権に対する強固な信任が示された。選挙結果を受けて、同国資産は堅調な推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↗ 景気回復	↘ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示 (ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高(円安)を上向き、現地通貨安(円高)を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

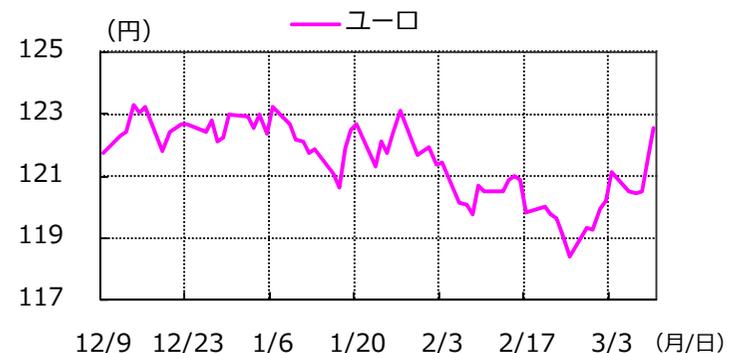
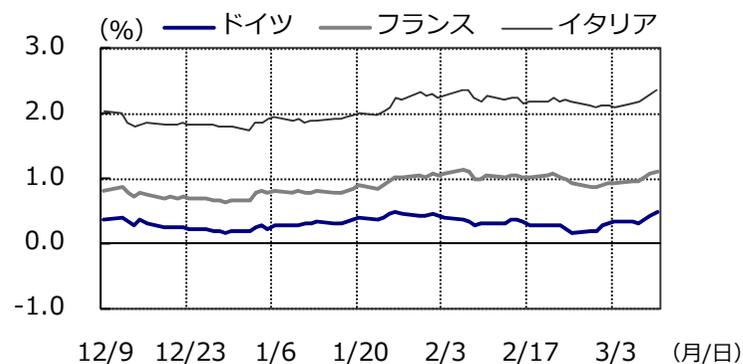
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/10 (3/3との比較) 今後の見通し (※4)	3/10 (3/3との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
メキシコ 	A	7.17% (+0.01)	5.85円 (+0.16%)	+2.4% 2016年4Q	6.25%	発表されたCPIが上昇し、市場予想対比でも上振れたことから、国債利回りは小幅上昇。米国の追加利上げ期待の高まりもあり、ペソは対米ドルで下落、対円では上昇。	鉱工業生産などの発表を予定。14～15日のFOMC（米連邦公開市場委員会）に注目が集まる他、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉をめぐり、債券・為替ともに値動きの荒い展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	11.47% (+0.07)	30.59円 (▲0.70%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	鉱工業生産は市場予想を上回る結果。米国の追加利上げ観測の高まりなどを背景に、リラは対米ドル、対円ともに下落。国債利回りは上昇。	16日に金融政策決定会合が開催される予定。4月に予定される大統領権限強化の是非を問う国民投票に向けて、政治的な緊張感が高まりやすいことから、債券・為替ともに上値の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
中国 	AA-	4.18% (+0.00)	16.64円 (+0.35%)	+6.8% 2016年4Q	4.35%	政府は全人代で、2017年の経済成長目標の引き下げを発表。またマネーサプライの伸び率目標も引き下げられ、従来よりも引締め的な政策への転換を示唆。国債利回りはほぼ変わらず。香港市場の人民元は対円で上昇。	鉱工業生産や固定資産投資、小売売上高など多くの経済指標の発表を予定。経済指標が良好な内容となれば、当局による追加金融引締めへの警戒感が強まり、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。
	Aa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/9～2017/3/10



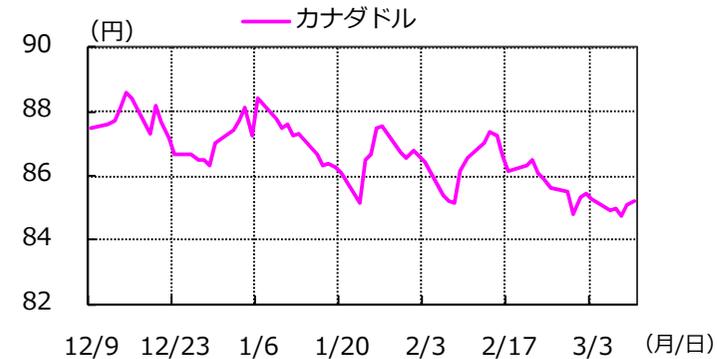
※10年国債利回りを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

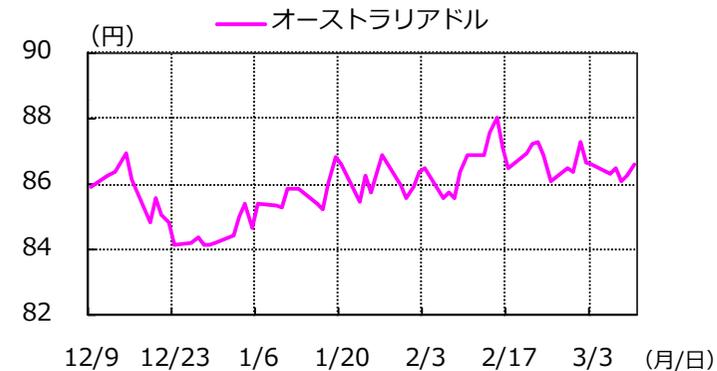
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/9～2017/3/10

カナダ



オーストラリア



ニュージーランド

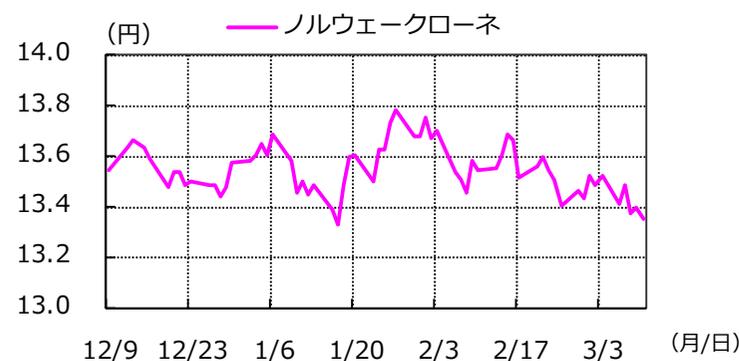


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/9～2017/3/10

ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

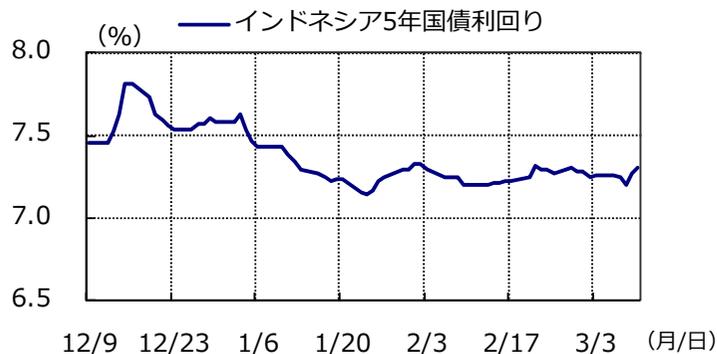


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/9～2017/3/10

インドネシア



インド



メキシコ



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/12/9～2017/3/10

トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。

※香港市場における人民幣の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。